

防災面での危機管理について

災害時の安否確認・連絡方法は親子で話しあって決めておきましょう

大地震発生時の対応について

法政大学は震度5弱以上の地震発生で非常体制となり、授業・イベントを中止します。東京都の条例では、救護活動の優先や二次災害防止のため、一斉帰宅を抑制する3日間の安全な建物内待機を推進しています。そのため、本学では学生が3日間、大学内で待機できるように備蓄品を用意しています。



防災用備蓄品は各キャンパスに配置しています。

建物について

法政大学施設の耐震化率は100%です(2025年4月1日現在)。

なお東日本大震災発生後に、本学の全校地全建物で専門業者による建物の安全性調査を実施し、「建物構造体に関して耐震上の被害はなく、耐震強度は地震被災前と同等であること」と「建築本体二次部材(天井その他の仕上げ材、配管・設備機器)の落下危険のないこと」を全棟で確認しております。

防災訓練について

法政大学では大地震や火災、傷病者発生等を想定した防災訓練を年に2回実施し、教職員が災害発生時にとるべき行動を確認するとともに、学生に対しても啓発活動を行っています。

大地震発生時の避難場所

市ヶ谷：原則として建物内待機
多摩：原則として建物内待機
小金井：原則として建物内待機

<大規模災害発生時にとる三大原則>

(1) 大学にいるとき

- ①身の安全を確保
 - ②周囲の火の始末・初期消火
 - ③周囲のケガ人の救助・救援活動
- その後の行動については、大学が情報収集に努め指揮をとります。帰宅が困難なときは大学にとどまります。

(2) 自宅または学外にいるとき

まず、身の安全を確保。
通学・帰宅途中はただちに帰宅。
家族と連絡を取り合い安全を確保。

災害用伝言ダイヤルや伝言板で安否確認や家族との連絡方法

発災直後の連絡は
災害用伝言ダイヤル・伝言板で

電話回線がパンクするのを避ける意味でも、安否の確認は災害用伝言ダイヤル(171)や災害用伝言板(web171)の活用を。事前に体験利用をしておきましょう。



災害用伝言ダイヤル(171)はNTT東日本が無料で提供しているサービス
毎月1日と15日は体験利用が可能

利用のしかた

- ①「171」に電話をかける
- ②録音するには「1」、メッセージを聞くには「2」をダイヤル
- ③電話番号を市外局番からダイヤル ※携帯電話の電話番号でも可能
- ④伝言を録音(または再生)

(出典：東京くらし防災)

就職



就職／理系の就職活動／教職・資格／講座／公務員／学部別の主な就職先／
就職に関するQ & A